

何を使う

機器 パソコンまたはタブレット

ソフトウェア（アプリ）

Zoom や Cisco Webex Meeting 等のビデオ会議アプリ



それをどう使う（それで何ができる）

- ・リアルタイムで授業が視聴できるため、学習の遅れがない。
- ・離れた場所においても、画面を通して顔を見ながら会話することができる。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

小・中学校 各教科等

【 Before 】

- 板書やノートを複製・印刷し、対象生徒へ渡していた。
- 1 クラスを2つのグループに分けて登校させる分散登校では、教員が同じ授業を2回行っていた。



【 After 】 メリット

- 通常学級で行われる授業を校内の別室で学習している生徒や、登校できず一斉授業に参加できない生徒等に向けて、配信することができる。
- 分散登校等の対応が発生した際、同じ授業を何度もすることなく、同時に各教室に配信することができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	○	受信者が教室の場合 大型提示装置で投影					
	各教室1台								
授業実施時に必要な環境→					インターネット接続		○	1人1台端末	
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等			全教科	
	○	○	○		活用が想定される場面			学習活動全般	